

令和２年度 第１回徳島県スポーツ推進審議会 議事録

I 日 時

令和２年７月１０日（金） 午前１０時４５分から午前１１時５３分まで

II 場 所

徳島県庁１１階講堂

III 出席者

【委 員】２０名中１２名出席

分木秀樹会長，佐藤充宏副会長，大阪真智子委員，小谷敏弘委員，
関本真美委員，高杉繁樹委員，竹林義浩委員，中井優子委員，
中田恵莉子委員，西村洋子委員，吉野誠委員，米本元子委員

【事務局】国際スポーツ局長，スポーツ振興課長，国際スポーツ大会課長
同ワールドマスターズゲームズ担当室長ほか

IV 次 第

１ 開会

２ あいさつ

３ 議事

- （１）令和２年度スポーツ関連施策の状況について
- （２）徳島県スポーツ推進計画の進捗状況について
- （３）質疑及び意見交換
- （４）その他

４ 閉会

《配付資料》

- ・令和２年度第１回徳島県スポーツ推進審議会資料【資料１】
- ・ラグビーワールドカップ２０１９ 東京２０２０オリンピック・パラリンピック
令和元年度（２０１９年度）事業の取組みについて【資料２】
- ・ワールドマスターズゲームズ２０２１関西の準備状況について【資料３】
- ・新型コロナウイルス感染症によるスポーツ大会等への影響について【資料４】
- ・動画・WEBサイト参考資料【資料５】

V 議事録

☆会長

これから議事に入る。議事（１）「令和２年度スポーツ関連施策の状況」、議事（２）徳島県スポーツ推進計画の進捗状況」について事務局から説明をお願いする。

議事（１）「令和２年度スポーツ関連施策の状況」及び議事（２）「徳島県スポーツ推進計画の進捗状況」について

◆事務局

（資料１，資料４により担当者から説明。）

◆事務局

ただいまの説明で１点補足をさせていただく。今年度の予算で減額という説明があった。県においては通例ではない，レアなケースであるが，先程来申し上げている新型コロナウイルスの関係で福祉や事業者の関係へ，全庁的にお金を工面しなければならないという状況であり，そのようになっている。

ただ，スポーツにおいて，中止になってできないものもあるが，今後の状況によって，延期になっているもの，新たにすべきものについては，担当部局から財政当局に要求して増額も含めて今年度でも対応してまいりたい。

◆事務局

（資料２により「ラグビーワールドカップ２０１９，東京オリンピック・パラリンピック令和元年度（２０１９年度）事業の取組みについて」，資料３により「ワールドマスターズゲームズ２０２１関西の準備状況について」担当者から説明）

☆会長

それでは，ただいまの事務局からの説明について，御質問をいただきたい。

○委員

３点お聞きする。

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・オンラインの活用について
- ・「ナイトヨガ」の取組を行った感想とその後の取組について

まず，新型コロナウイルス感染症対策について，県として，とくしまスマートライフ宣言の実践などにより県民の感染予防対策の徹底をされているが，スポーツ，健康づくりにおいてどのような感染予防対策がされているか。

また都市圏や企業等でさまざまなアンケート調査が行われており，その結果の中に「自粛生活において，体力や筋力が落ちた」，「体重が増えた」，「ストレスを感じている」等心身の健康に大きな影響を及ぼしているという結果がある。このようなアンケート調査を県として実施されているか，実施されているのであれば結果，概要を教えてください。

また，このような体力低下を防ぐための対策をとられているか，とられていたら教え

ていただきたい。

オンラインの活用について、本来指導者と指導を受けるお客様が直接顔を合わせてコミュニケーションをとるのが理想的だと思うが、コロナ禍の今、特に自粛生活においては、直接会っての運動指導が困難な状況にあった。今後もそのような可能性はあるので、オンライン運動の実践の場づくりが必要と考える。このような対策は行っているか。また、情報としてNPO法人日本健康運動指導士会ではIT企業の(株)コガソフトウェアと連携して「オンライン運動指導システム」の提供を開始している。県としての対策があれば教えてほしい。

そして昨年度、徳島県スポーツ振興財団がスポーツ庁補助事業として実施した「運動スポーツ習慣化促進事業」の一環で行われた「ナイトヨガ」の講師をさせていただき、この場をお借りして感謝申し上げる。実施後、参加者から「とても気持ちよくリラックスできた」「芝生はふかふかして、とても居心地がよかった」などの好評の声をいただいた。私自身も緑があるポカリスエットスタジアムで指導者体験ができて、とても貴重な経験ができたと思っている。今回の経験から、陸上競技やサッカーなどの競技スポーツだけではなく、すばらしい県有スポーツ施設があるので、それを広く県民の皆様が利用できる取組が望まれると感じた。また、そのような事業の実施を通して、スポーツをされている方の継続の意欲の向上を図るとともに、スポーツにあまり関心のない県民のきっかけ作りを行うとよいのではないかと感じた。今年度も同様の取組をされるのであれば教えていただきたい。

◆事務局

まず新型コロナウイルス感染症による、さまざまな影響に向けた対策の状況について、冒頭に資料をみていただいたが、このたびの新型コロナウイルス感染症により、様々な大会が中止、延期ということになった。それに伴って代替大会の開催をしながら、特に高校3年生の最後の機会をどう確保していくかということで、現在代替大会が順次行われている状況がある。それと資料下の方にもあるが、各種スポーツ施設についても感染症を防止するということで、特にひどい時には全館休止という状況もあったが、現在は、国の緊急事態宣言解除の発令を受け、順次、利用を再開させていただいている。

まず、スポーツの再開においては、スポーツ庁の方からもスポーツの再開に向けた様々な留意点をまとめた全国的に共通のガイドラインが提供された。その後、それを受けて、各競技ごとに、中央競技団体が主体になって、各競技ごとの特性に応じた感染症対策のガイドラインが、どんどんと示されてきている。そういった中で県内の各競技もそれに応じた十分な対策を考えながら、順次それに向けての作業、再開といった対応がとられている状況である。

スポーツ施設に関しても、スポーツ庁の方から施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドラインが示されており、それに基づいて各施設での対策がとられている。

1つは、まず「3密」を徹底して防ぐということ。それと、御利用になる方々の健康管理、やはりお越しになる方々の体調を十分確認する、検温していただくという場合もある。こういった方々が利用されたかという情報をしっかり管理することによって、発症した場合であっても、その後の行動も含めて追跡調査ができるようにするといったガイドラインも示されており、それに応じた形で施設も対応しているといった状況。

今後も第2波、第3波の懸念もあるわけだが、その時々への対応を十分踏まえながら施

設、各スポーツの競技大会、イベントについて、しっかりと対応がとれるように県としても十分な支援をしていきたいと考えている。

◆事務局

次にオンラインを活用した運動について、外出の自粛、施設の休止により、県民の運動機会が減ってしまうという懸念をしており、まずは「ステイホーム」の呼びかけを契機として、資料「動画・WEBサイト参考資料」に掲載のように、即時に、予算はない状況ではあったが、(公財)徳島県スポーツ協会、(一財)徳島県スポーツ振興財団に御協力をいただき、簡単にできる運動の動画を作成してユーチューブで配信をしたほか、本日もお起こしになられているOKスポーツクラブ様でも動画での運動を配信されており、こちらも情報提供ということで県民の方への発信をさせていただいている。こういった対応もしながら、本格的にオンラインという方法を取り入れていくのが今後の「新しい生活様式」に則しているのではないかとということで、今回新規事業で立ち上げたのが資料7ページの「総合型地域スポーツクラブ活動再開支援事業」。

クラブへの聞き取りから、スポーツ教室に通うのはやっぱりまだ不安ということで、しばらくは様子をみようという方が大勢おいでという声もお聞きする。そういったこともあるので、総合型地域スポーツクラブが地域の方のスポーツ活動を継続できる何かお手伝いできないかということで、事業を開始するものである。まずクラブの感染症対策を図る事業、もう一つがオンライン教室を開講するための技術的な支援ということで、専門スタッフや講師を派遣して、オンライン教室ができる体制を整えて、できれば県内のクラブにもそのノウハウを共有したいと考えている。

3点目の「ナイトヨガ」は、とても盛況で、イベント後帰っていかれる方がいい笑顔で、スポーツをはじめるきっかけにしてくださっているのではないかとと思っている。こうした、これまで運動をしていなかったが、運動の楽しさや気持ちよさを体感して運動習慣を定着させていただくというような取組は、今年度もスポーツ庁の補助事業を受け、実施をしたいと考えている。方法は少し見直しをして実施をしたい。特に企業の方では、アンケートによると、運動したくても忙しくてできないといった声もあるので、またアンケートを実施して、じゃあどうすればできるのかといったニーズを把握して運動に取り組めるような事業をやっていきたいと考えている。

民間のアンケートではコロナでの影響で体への障害も出ているという結果が出ているということで県でこのような調査を実施するかというお尋ねをいただいた。

県では毎年、スポーツの実施状況について、「eモニターアンケート」を実施している。このアンケートにおいて、通常行っている成人のスポーツの実施率と併せて新型コロナが流行したことによって運動への取組が変わったかということも併せてお聞きしたいと考えている。

○委員

情報提供ですが、「地球横断フィットネス『フィットリップ』』というタイトルで全国、海外のインストラクター160名の有志が集まりオンラインを活用して、その県や国の御当地情報や運動指導を無料で提供するという取組がされている。フェイスブック等の登録者数は今1,600名近く登録されており、徳島県でも先日私が担当して、徳島県の御当地の紹介とおうちでする効果的な運動を紹介させていただいた。今、毎日、各県や

南フランスやアルゼンチンといった海外のインストラクターが3人に1人の運動不足者を減らす目的で誰もが出来る簡単な運動を紹介する、とてもよい取組だと感じた。そういったことも県でもできるといいと思う。

☆会長

それでは説明のなかったところも全般的なところで御質問をいただきたい。

☆会長

私の方から一つお願いをしたい。

来年、ワールドマスタースゲームズ2021関西、オリパラで予定されている事前キャンプ、本県の競技力向上の活動、国体の四国ブロック大会の本県開催ということもあり、つまりスポーツ施設の使用が大変だと思うのだが、競技団体にできるだけ早く、施設使用の情報を流していただきたい、あるいは御相談をいただければ非常にありがたいのでよろしくお願いします。

◆事務局

会長がおっしゃったように、オリ・パラが1年延期となった関係で、本県に外国から事前キャンプにお越しいただくのも1年延びたと先程説明させていただいたが、県内の施設においても大規模なスポーツ施設、鳴門・蔵本がございしますが、施設を使用することがメインになってくる。そうすると、どうしてもスポーツのシーズンは夏場ということで各種大会もそれに合わせた形で開かれるというような予定もあり、例年に比べ、さらに使用の頻度が高くなるといったような懸念もあるので、できるだけその他のスポーツイベントにも影響のないように開催に必要な情報を集め、これを関係団体の方へもお示ししながら、そのような中で利用が円滑に進むような形で対応して参りたいと考えている。

○委員

障がい者の方を含めて今スポーツを楽しむ環境が難しいというのは、皆様も御承知のとおり。特に障がい者、特別支援学校とか施設で入所、利用されている方々にとっては、なんとか運動できる機会をつくってあげたいと思っているところではあるが、やはり支援する立場の方、施設関係者の方からすればまだ早いのではないかと、また陽性の方が出たりすると1歩進んでは3歩下がったりの繰り返しで、それぞれの競技、分野ごとに国一律のガイドラインでは、なかなか安心できる状態まで持って行くのはたいへんかと思っている。それぞれの施設とかグループ、競技ごとに、このwithコロナ時代に応じたような対策を国のガイドラインの中でアイデアを出せるような、共有できる場面をつくって、感染予防に注意し、情報を共有しながら、一つ一つ前に進んでいくようなことができたらいいのではないかと考える。

特に障がい者の方にとっても国内最大の障がい者のスポーツイベントである全国障がい者スポーツ大会も開催延期、時期もまだ見えてこない。昨年の茨城大会も台風で急に中止となり、スポーツの機会が2年続けて奪われているので、障がい者スポーツ協会としても、代替のイベントができないか模索しているところ。しかしながら施設関係者にとってみれば、安全かどうかの見極めが難しいところもあり、空気が乾燥して、冬にな

ると、通常の季節性のインフルエンザが流行ってくるかもしれず、非常に悩ましいところである。密をさける、リモートといった工夫もあると思うので、代替の競技の開催というも含めて知恵を出し合い、情報共有の場面をつくっていただいて、できれば具体的な支援策、技術的な支援・助言、運営や体制的な支援も含めてサポートしていただけるといいんじゃないかと思っている。

来年の評価は、このままいくと落ちてくるんじゃないかと思うので、来年の評価の基準はどれだけ感染症対策をしたかといったところがメインになってくるんじゃないかなと、予算の多い少ないだけでなく、ワクチンができるまでのこの期間は、とにかくみんなが知恵を出し合いながら、スクラムを組んでやっていく時代なのかなと感じている。

◆事務局

国等からガイドラインが示される中で、各競技団体、主催者の方々では、ガイドラインは示されながらも実際のイベント・大会に応じた形でどういう風に安全対策ができるのかということで試行錯誤しながら対応されている状況である。県の方にもどのように対応したらいいのかといった問い合わせ、御相談もいただいている。こちらにも具体的に当てはまるような対策はこうですと言いつけるのが難しい場面もある。このような中、今後、委員のおっしゃったように、実績が伴いつつある、各種大会でやってみた対策、結果、反省点が出てくる部分もあるので、そうした中で次の大会イベントにどう活かしていくかということで、ケーススタディ的な所を積み重ねて、それを団体、イベントの方々に共有できるような対策をすることによって、少しでも影響を少なくして、有効な対策が打てるようなことが重要と思っておりますので、情報収集、情報共有に努めて参りたいと考えております。

○委員

先ほどの説明の中にあつたワールドマスタースゲームズのオープン競技のラフティングと一緒にやらせていただいている。ラフティングもまだマイナーなスポーツであり、その前にまだワールドマスタースゲームズ自体が、たぶんまだ県民の皆様にもなかなか浸透をしていないと思う。たいへん難しいと思うが、県の方とも一緒に、皆様のお力もお借りしながら、開催できるかどうか状況も変わると思うが、来年までにこういうものがあるというのを皆さんに知っていただくためにも、どういう風にして広めたいとか、WEBとかSNSとかいろいろあるだろうと思うが、まずは地道なところから、ポスターができれば、委員の皆様に発送していただき、身近な方に伝えてもらって、広めていただけたらと思っているのでよろしくお願いしたい。

◆事務局

コロナの状況で「さあ、みなさん大会に来てください」というPRをしにくい状況である。

10月以降オープン競技大会を開催することになるのでPRをしていきたい。

オープン競技大会のメダルデザインは、徳島県バージョンのものを公募し、まだ公表できていないのだが、審議会委員の1名の方にも審査委員になっていただいで決定している。発表もあわせてPRの手段としていきたいと思っているので、協力をよろしくお

願います。

○委員

学校現場の方で、熱中症のこともあるので、運動する時のマスクの着用をどうしているかお尋ねしたい。我々の方もプールの中でマスクをしたりとか、いろいろ対策はとっているが、陸上の方で指導する場合にどういう風にやっているのかという現場を知りたい。

また、他の施設もいろいろな大会を開催されると思うが、大会を提供する施設側と主催者側とがどれくらい話をされて大会、イベント等を開始していつているのか知りたい。

学校、高校は代替大会などで要項等を持たれていると思うが、みんなに周知されて他の競技に、これいいなというものが分かればよいと思う。

◆事務局

学校現場で、体育の授業等、マスクをどうしているかとお尋ねについて、マスクの着用は体へのリスクを考慮し、必要ないという形で指導している。

ただし、体育の授業前にマスクを外してから終わってマスクを着用するまでの間は、できるだけ距離を開けるであるとか、ランニング等で走る場合には、マスクをしていないので、できるだけ人と人との間を開けるというような形で体育の授業をするようになっている。学校の教育現場全体を通して暑くなっているので、熱中症が非常に危険な状況になる可能性があるので、マスクの着用は気温、体調について配慮した上で、まず熱中症予防をしっかりやる、外す場合には人との距離をとるであるとか、考慮の上行うこととしている。

代替大会等について、高校の場合は県高校総体の代替大会が始まっている。コロナ対策は高体連が中心となって企画等している。競技専門部が競技特性に応じた感染症対策をやっているが、それ以外の共通しておくべきことについては事務局が窓口になって、ここはこうやっているとか、こうしたらどうかという質問について、まとめて対策を行っている。

◆事務局

施設と主催者については、施設を利用する上での対策をとっていただけるか、利用者の情報管理、体調管理、換気等についての制約上の対応について利用時にお示しをする形をとっている。個々の競技ごとにどのような対策をとるかといった連携ができているかについては正直十分できてない。

競技ごとに開催結果が出てくるので、施設管理対策の結果も含めて情報共有して、対策を把握できるよう努めて参りたい。

○委員

実際に競技団体の対策がひどくて、これはやめてほしいというのはなかったか。

◆事務局

これまでにそのような例は聞いていない。競技団体には国のガイドラインを送り、話も伺っており、引き続き状況把握に努める。

○委員

体育館を管理しているので、これはどうかなと思うところもあるので、聞かせていただいた。

☆会長

予定の時刻であるため意見交換を終了する。

本日いただいた御意見は、今後の施策にできるだけ反映していただけるようよろしくお願いします。最後の議事、その他について事務局から何かあればお願いします。

(事務局説明)

☆会長

以上をもって議事を終了する。

議事進行への御協力に感謝する。

進行を事務局へお返しする。

事務局（閉会）